災害等に備えて

1 災害備蓄品について

(1) 災害時対策リュック（地震リュック）の常備について

災害発生時に児童生徒が学校に待機することとなった場合を想定し、健康を維持するために、学校に生活用品等①～⑧を御家庭から持参していただいています。お子様自身が背負える布製のリュックに入れてください。学期末にお返しし、賞味期限などを御確認の上、新学期に新しい備蓄品を持ってきていただいています。6食分を目安に御用意ください。

	物品	備考
①	水（500mlペットボトル2本）	アルファ化米用の水とは別に用意
②	食料品	アルファ化米、カロリーメイト、ウィダーインゼリー等6食程度
③	靴下（1足）	
④	下着の着替え（1着分）	
⑤	タオル（2枚程度）	
⑥	レジ袋（2枚）	
⑦	アルミブランケット	体温保持に役立つアルミシート
⑧	マスク（5枚程度）	

この他、おむつや生理用品など学校に預けたい物がある場合は、御家庭の判断で御用意ください。また、すべての備蓄品に氏名を明記してください。

(2) 防災頭巾、ヘルメットについて

災害時に落下物等から児童生徒の頭部を保護するために、防災頭巾またはヘルメットを持参していただき、教室に常備しています。特に指定の物はありませんので、市販のものを御購入し御用意ください。

(3) 学校と家庭の情報伝達・連絡方法について

①学校から家庭への情報伝達手段

- ・一斉メールにより状況を配信します。
- ・ホームページに状況を掲載します。

②家庭と学校との相互連絡手段

- ・電話（緊急時用携帯電話）にて行います。
- ・メール（学校代表アドレス：imaichitoku@tochigi-edu.ed.jp※緊急時のみ使用）にて行います。

③電話・メールが利用不能な場合の代替手段

- ・「休みん」により状況を報告ください。
- ・災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言板（Web171）を活用します。
- ・状況に応じて、家庭訪問を実施します。

(4) 家庭で話し合っておく事項について

事故・災害が発生した場合に対する家庭での備えについて、各家庭で話し合いを行ってください。特に、児童生徒と保護者等が離れている時の対応として、以下の点について各家庭の状況に応じた話し合いをお願いします。

①下校中、通学路で危機事態が発生した場合の対応

- ・自宅、学校のどちらに向かうか（自宅に保護者等がいて、被災地点が自宅に近ければ自宅に戻る、保護者等不在の場合や学校に近い場合には学校へ行く等）
- ・大きな地震の場合の避難先

②自宅で保護者等が不在のときに危機事態が発生した場合の対応

- ・自宅で自分の身を守る行動の取り方
- ・保護者等との連絡の取り方（複数の手段）

③公共交通機関が途絶し両親が勤務先から戻ることができない場合の対応

- ・学校にいる場合には、学校で数日間待機する可能性があること

④身分証を必ず身に着けておき、緊急（災害）時に活用すること